



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.36

地域連携病院③「阿南医療センター」

今回は、阿南市宝田町にある阿南医療センターをご紹介します。

■徳島県南部の中核医療拠点として

令和元年5月1日、阿南共栄病院と阿南中央病院の医療資源を集約した阿南医療センターが誕生しました。徳島県南部の中核医療拠点として、急性期から回復期、療養期に至るまで、幅広い入院診療を行っています。令和2年4月には、県南では初となる



緩和ケア病棟も開設する予定です。

■特化した6つのセンターを開設

阿南医療センターでは、特色ある6つのセンター(患者支援センター・リウマチセンター・言語聴覚センター・健診センター・内視鏡センター・糖尿病センター)を新たに開設しました。中でもリウマチセンターと言語聴覚センターは、地方の中核医療拠点としては稀な取り組みです。リウマチセンターでは、平日は毎日外来診療が行われており、多くの患者さんが通われています。言語聴覚センターには、専任の言語聴覚士が8名在籍しています。耳鼻科の医師と連携し、小児患者さんの言語リハビリから成人患者さんの嚥下リハビリま

で、幅広い年代の患者さんの診療を行っています。小児患者さんの言語リハビリでは、興味をもってリハビリに取り組むための工夫があり、その様子をご家族等が別室のモニターで見守ることのできる部屋もあります。

→聴力検査機器。
両脇のモニターに検査音と共にアニメの映像が流れる仕組みになっており、喃語期の小児患者さんでも検査できる。



■徳島県の地域医療発展のために

高齢化社会が進み、地方都市では医師の高齢化も問題の一つとなっています。阿南医療センターでは、この問題への取り組みのひとつとして、徳島大学大学院に寄付講座を開設し、教育・研究活動にも尽力しています。開設された糖尿病・代謝疾患治療学分野では、徳島県の県民病である糖尿病診療を担っていく若い世代の医療人を育成することを目的に、様々な取り組みが行われています。平成30年8月には、第4回阿南地域医療フォーラムが開催され、徳島大学病院の医師による講義があり、多くの医療従事者が参加しました。また、徳島大学病院からの研修医受け入れも毎年行われています。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

阿南医療センター

徳島県阿南市宝田町川原6番地1
TEL.0884-28-7777

■説明は(左から)

上段左から

鈴江 浩子(すずえ ひろこ)看護師

千田 幸代(せんだ さちよ)看護部長

館 美加(やかた みか)副看護部長

下段左から

森 裕之(もり ひろゆき)病院長補佐

玉置 俊晃(たまき としあき)病院長

高橋 秀夫(たかはし ひでお)内科部長

